PART2　ラ変型／四段動詞につく「なり」

★ラ変型につく「なり」

（例）　ある**なり**

〈例題〉　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

「最期に口惜しと思ひし一念によりて、かくまうで来たるなり。」と言ひける。

★ラ変型「撥音便」につく「なり」

（例）あ **なり** ↓ ［　　　　］

（　　）**なり** ↓「　　　　」

（例）

物語といふもののあん**なる**を、…

「今は。」とて見えざ**なる**を、…

罪重か**なり**。

問四　傍線部の助動詞「なり」のうち、一つだけ他と意味の異なるものを次の中から選べ。

ア　祈るなり　　イ　所なり　　ウ　あなれ　　エ　来たるなり　　オ　親なり

★四段動詞につく「なり」

（例）　しるしを示す**なり**けり。

***音声**動詞＋**なり**→［　　］

＊言ふ
泣く
鳴く
打つ
叩く
…　など

問五　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

夕されば野辺の秋風身にしみてうづら鳴く<u>なり</u>深草の里

問六　傍線部の助動詞の意味を、次の中からそれぞれ選べ。

①　冬の夜ならぬ真木の戸を…

②　まもらるるなりけり、と思ふにも…

③　くらげのなり。

④　道も恐ろしかんなるを…

⑤　袖湿（ひ）ぢてしぼるばかりなり。

⑥　寺に尊きわざすなる、見せたてまつらむ。

⑦　あひ思さぬなり。

⑧　言ひ使ふ者にもあらざなり。

⑨　端の方(かた)なりし畳〈＝敷き物〉をさし出でしものは、…

⑩　かひありとこそ鹿も鳴くなれ。

⑪　人の程に合はねば、とがむるなり。

⑫　（簾の）内なる人、一人柱に少しゐ隠れて、…

ア　断定
イ　存在
ウ　伝聞推定

第16講　PART2　確認問題

① 傍線部の助動詞の意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

「この皮は、唐土(もろこし)にもなかりけるを、からうじて求め尋ねえたるなり。」

ア 存在　イ 伝聞　ウ 推定　エ 断定

② 傍線部について、文法的説明として最も適切なものを、次の中から選べ。

「物語に書きてあるところあんなりと聞くに、…」

ア 四段活用動詞・連体形＋断定の助動詞　イ ラ行変格活用動詞・連体形＋伝聞の助動詞
ウ 四段活用動詞・終止形＋伝聞の助動詞　エ ラ行変格活用動詞・終止形＋断定の助動詞

③ 「いづこなる者のかかることは言ふならん。」の傍線部の文法的説明として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア 「言ふ」の終止形＋断定の助動詞「なり」の未然形　イ 「言ふ」の連体形＋断定の助動詞「なり」の未然形
ウ 「言ふ」の終止形＋伝聞の助動詞「なり」の未然形　エ 「言ふ」の連体形＋伝聞の助動詞「なり」の未然形

④　次の傍線部の助動詞「なり」のうち、意味が他とは異なるものを一つ選べ。

ア　するなり
イ　あなり
ウ　したなり
エ　限りなんなり

⑤　傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

「衣着せつる人は、心異になるなりといふ。」

ア　心を通わせられないということなのですか
イ　心は変わらないのだと言っているのです
ウ　心変わりをしないでほしいのです
エ　心が違ってしまうということです

第16講　PART2　解答

〔例題〕 断定

問四 ウ

問五 （伝聞）推定

問六 ①ア　②ア　③ウ　④ウ　⑤ア　⑥ウ
⑦ア　⑧ウ　⑨イ　⑩ウ　⑪ア　⑫イ

第16講　PART2　確認問題　解答

〈解説〉

①「たる」は完了の助動詞「たり」の連体形であるが、ラ変型活用であるので、接続では「なり」が断定か伝聞・推定かの識別はできない。ただし会話文で一人称と思われるため、断定の助動詞と判断する。よって、エが正解。

②「あんなり」は、ラ行変格活用動詞「あり」の連体形「ある」の撥音便（「あん」）に伝聞の助動詞「なり」がついたもの。

③「なら」は断定の助動詞「なり」の未然形で、活用する語の連体形につく。

④アはサ行変格活用動詞「す」の連体形に断定の助動詞「なり」がついたもの。他はラ行変格活用の連体形（イ・エは撥音便）に伝聞・推定の「なり」がついたものである。

⑤「なるなり」の「なる」はラ行四段活用の終止形。「なり」は伝聞の助動詞。下に「～といふ」とあることからも伝聞とわかる。したがって、「心が違ってしまうということです」という意味になる。

〈解答〉

①　エ　②　イ　③　イ　④　ア　⑤　エ